

第1回 湯来地域における小中一貫教育校設置検討会議 議事要旨等

1 開催日時・場所

令和4年11月14日（月） 18:30~20:00 サンピアゆき ホール

2 出席者・傍聴人

出席者：16名（欠席：水内地区町内会連合会 小田 稔 氏）

傍聴人： 0名

報道： 1社（中国新聞社）

3 議事要旨等

(1) 開会

① はじめに

② これまでの経緯について

資料1及び資料2により、事務局からの説明があった。

(2) 議事

① 座長の選任

構成員から、座長に光井 利成 氏（五日市商工会湯来地区振興委員会）の、座長代理に平岡 忠 氏（杉並台連合町内会）の推薦があり、承認された。

② 設置検討会議について

資料3により、座長からの説明があった。

当検討会議での議論に当たっては、子どもたちの幸せとまちの活性化につながるものとなるように、次の4つの視点に留意して検討を進めることについて、構成員により承認された。

ア 個人的な価値観や居住する地区の利便性等に捉われることなく、湯来地域全体のことを考える。

イ 現在の状況だけでなく、10年後、20年後の子どもたちにとっても質の高い教育が受けられる環境を考える。

ウ 学校の教育機関としての機能だけでなく、地域コミュニティの核としての機能についても考える（地域活性化、地域住民の交流、子育て支援等）。

エ 批判や否定をするだけでなく、代替となる案を提案するなど、前向きな議論をする。

また、検討の進め方として、まず、質の高い教育や地域資源を生かした特色のある教育の内容、地域コミュニティの核としての学校の在り方等について協議を重ね、目指すべき方向性が一定程度定まった後に、そうした学校にふさわしい設置場所や施設整備の内容等について協議する、という段階を踏みながら検討を進めることについて、構成員により承認された。

③ 本市における小中一貫教育校及び湯来地域の各小・中学校の取組について

資料4により、教育委員会学校教育部指導第一課・指導第二課からの説明があった。

4 その他

構成員より、戸山小中一貫教育校への視察の提案があったことから、令和5年1月中を目途に視察を行うこととなった。

※ 議事等に関する発言要旨は別紙のとおり。